

令和4年度 内子高等学校 シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	2単位	学年	1学年
教科書	高等学校公共(第一学習社)		副教材等	最新公共資料集(第一学習社)			

1 学習の目標

- ・現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解し、必要となる情報を調べ、まとめる技能を身に付けます。
- ・基本的原理を活用して、多面的・多角的に考察し判断する力や、議論する力を養います。
- ・現代の諸課題を解決しようとする態度を養い、主体的人間としての在り方生き方の自覚を深めます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1編 公共の扉 1 公共的な空間をつくる私たち 2 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 3 公共的な空間における基本的原理	・公共的な空間と人間とのかかわり ・社会に参画する自立した主体として ・人間としての在り方生き方についての探究 ・選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 ・自立した主体になることに向けて ・よりよい公共的な空間づくりをめざして	中間考査
	第2編 自立した主体としてよりよい社会形成に参画する私たち 1 法的な主体となる私たち	・法や規範の意義と役割 ・法をよりよく変えていくために ・契約と消費者の権利、責任 ・司法参加の意義	期末考査
第2学期	2 政治的な主体となる私たち	・政治参加と公正な世論の形成 ・国会と立法 ・内閣と行政の民主化 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割 ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界	中間考査
	3 経済的な主体となる私たち		期末考査
第3学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化 ・排出量取引を考える ・ベストミックスを考える ・ゲノム編集を考える ・インターネットによる投票を考える ・フェアトレードを考える	学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

- ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論、情報について理解することができる。

【思考・判断・表現】

- ・現実社会の諸課題の解決に向けて、基本的原理を活用したり、多面的・多角的に考察し公正に判断し、議論したりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・よりよい社会の実現を視野に、社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決、使用することができる。

4 評価方法

- ・ワークシートやレポートを随時点検するとともに、授業態度で取り組む態度を評価します。
- ・定期考査で内容が理解できているかを確認します。

5 学習のアドバイス

- ・授業で必要だと思われることはプリントにメモをとり、分からないことはその場で担当教員に質問しましょう。
- ・資料を読み取り、解釈する力を身に付けましょう。第一歩として、時事問題に関心を持ち、新聞記事やニュースを確認する習慣を付けましょう。
- ・予習は当然のことですが、特に復習に力を入れましょう。(例：教科書を読む→問題集を解く→もう一度教科書を読み、解けなかった内容を理解する)

